

政権交代へ、いざ決戦!

長崎から日本を変えましょう。



民主党への期待のうねり 日増しに高まる

来る衆議院・総選挙は「国民不安を増大する自民政権が、民主党による国民主体の生活再生か」を選択する極めて重要な闘いです。

10月5日の民主党と旧自由党との合併に伴い、長崎においても11日に県連合大会を開催しました。いよいよパワーアップし、政権交代の環境が整ったといえます。日本にも希望の2大政党制のうねりが現実的となり、県民の期待は大きく膨らんでいます。

政権公約(マニフェスト)を明示し 責任ある実行を誓って

高木義明は、この期待に応えるため具体的な政策を盛り込んだ政権公約(マニフェスト)を明示し、その実現を県民みなさんにお約束して闘いに挑んでいます。小泉内閣のめちやくちな見せかけの政治の結果、経済の不振、膨大な借金財政、主体性を失った外交、無責任な年金対応、指針のない少子高齢社会策、地域の疲弊と安全への不安など、失政ばかりの繰り返しです。いやしくも失政のつけを、一方的に国民にシワ寄せする政治であってはなりません。同時に「失政したら、政権交代する」のが民主政治の原則でありま

す。日本の政治が旧来型から脱却できず、失敗しても反省のない政治をこれ以上続けるわけにはいきません。高木義明は、公正で透明な分権型社会システムをめざし、「自立」と「共生」の理念が根付き、真面目に働く者が生きがいを

感じられ、社会的に弱い立場の人たちへ手を差し伸べられる社会、そして世界の平和と安全に貢献する日本であるよう直球勝負で全力を傾注してまいります。

高木に課せられた

歴史的使命と責任

高木義明は、これまで皆様方に育てられ、政治の場へ送って頂いた貴重な経験のすべてを懸け、今次衆院選の厳しい一騎打ちの闘いに挑みます。古い自民党政治を打ち破り、日本の再生と活力に満ちた地域社会を実現する決意です。まさに、「長崎から日本を変えろ!」このことが、高木義明に課せられた期待と使命であります。良識ある皆さんと共に実現しようではありませんか。



市民相談

手すりの設置と溝の整備 (上野町)



【是正前】



【是正後】

河川歩道にフェンスを設置 (三川町)



【是正前】



【是正後】

手すりの設置(矢の平2丁目)



【是正前】



【是正後】

ご相談はお気軽に!

長崎市議会議員

いつわ清隆

長崎市女都1丁目1444-13
自宅 ☎(844)9599
生活相談室 ☎(861)1985

この用紙は再生紙を使用しています。

やさしい街づくり! 元気な長崎!

長崎市議会議員



いつわ清隆

だより 第4号

平成15年11月 発行責任者: 馬場 尚之 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



秋が深まる季節となり、長崎の秋祭りである『長崎くんち』も27万人の人数の中に終了しましたが、皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

衆議院選挙は10月10日に解散し、10月28日公示・11月9日投票で決定しました。そのような中、9月26日に民主党と自党が合併し、自民党に対抗できる2大政党化を目指すなか、小泉流改革で本当に日本の厳しい状況を乗り切れるかを問われる大事な選挙になります。

わが民主党は、政権公約(マニフェスト)を提示し国民との公約の意義を明確にしています。

政権政党の最も大事なことは、公約を実現できなかったら政権の座を明け渡すことにあります。

そのためには、国民・市民の皆さんが厳しいチェックを行ない、国民が頼れる政治体制を創りあげなければなりません。

そのために『高木義明』はこれまでの4期13年の経験を活かし、国民・市民の声を国政の場へ必ず期待に応えるべく、全力で今回の戦いを勝ち取る決意に燃えています。

私たちが『高木義明』当選に向けて活動の輪を広げて行くことをお願い致します。

長崎市議会議員 五輪清隆

17の議案を可決する!

9月定例議会は9月1日から18日(18日間)開催し、理事者から提案された17の議案と議員提案の2議案(いづれも意見書)及び請願1件と5つの報告を可決・採択・承認し閉会しました。

可決された主な議案は、三重診療所を廃止し民間移譲する条例改正案や、電子入札制度の導入費や道路整備事業費などを盛り込んだ総額28億7,600万円の本年度一般会計補正予算案などです。

採択された請願は「年金給付額の据え置き等に関する請願」で、「国立病院の独立行政法人化にあたり、医療・看護体制の拡充と定員・賃金職員の雇用継承に関する請願」については不採択となりました。

議員提案の意見書は「道路整備予算の確保」と「犯罪防止のための治安対策の強化を求める」もので、可決後国会や関係省庁に送付することも確認しました。

また、議案等の可決後、理事者から2002年度決算関係議案14件の提案説明があり、いづれも閉会中の常任委員会に付託しました。

また、一般質問には、民主・市民クラブから田中洋一議員、陣内八郎議員、野口達也議員の3名が立ちました。

平成15年9月定例議会開催!

補正予算の主な内容(単位:千円)

- ① 放課後児童健全育成事業費 ……8,188
障害児受け入れ加算国庫補助基準の改正及び障害児受け入れクラブの増によるもの。
 - ② 入札・契約制度適正化推進事業費 ……68,741
入札制度等の抜本的見直しの一環として、電子入札システムを構築する。
 - ③ 消防庁舎建設事業費 ……53,000
 - ④ LL教室機器整備事業費 ……20,265
中央消防署仮設庁舎建設場所・桜町小学校跡地
機器の老朽化及び学科改編に伴う英語科目の増に対応するため、長崎商業高等学校のLL装置一式を更新する。
 - ⑤ 介護保険広域化支援事業費 ……25,000
介護保険運営の広域化に伴うコンピュータシステムの整備を行う。
- 【債務負担行為:平成16年度】(105,000)

常任委員会報告(主な内容)

総務委員会報告

第72号議案:非常勤の職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例

- 公職選挙法の一部が改正され、期日前投票制度が創設されたことに伴い、期日前投票所の管理者・立会人が必要になり、報酬の額を定めた。第77号議案:財産の取得について(高規格救急自動車)
- 中央消防署に配置している「高規格救急自動車」の老朽化に伴い、その代替えとして購入し、救急体制の充実を図るため。

厚生委員会報告

第82号議案(平成15年度長崎市一般会計補正予算)

- ① 国・県支出金返還金(総務管理費) ……3,451千円
- ② 次世代育英支援対策行動計画策定費(児童福祉総務費) ……4,000千円
- ③ 放課後児童健全育成事業(児童福祉総務費) ……8,188千円
- ④ 原爆被爆者健康管理費(原爆被爆者医療費) ……14,193千円
- ⑤ 病院群輪番性病院設備整備費補助金(保健衛生総務費) ……21,000千円

文教経済委員会報告

第82号 一般会計補正予算

- ① 農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業(農免道路)費負担金 長崎市三重町・松崎町線の今年度施工分。
- ② 新世紀水産業育成事業費(水産物消費拡大事業費補助金) 全国長崎かまぼこフェア(長崎浦鉾水産加工業協同組合が主体)への負担。
- ③ 漁港事業費負担金 沖波堤ほか13か所。
- ④ 工業振興対策費(地域産業活性化支援事業費補助金) 長崎県造船協同組合が実施する「3次元CADによる船殻工事・配管一品加工支援システム」の開発が、国・県の補助採択を受けたための支援。
- ⑤ LL教室機器整備事業費 長崎商業高校のLL装置の老朽化による更新。
- ⑥ 伝統的建造物群保存地区保存整備事業費補助金

建設水道委員会報告

南山手地区の2家屋(個人所有)の修理費用の一部補助。
⑦ 国指定史跡高島秋帆旧宅用地購入費 東小島町の土地購入費。

1. 長崎市地区計画の区域内における建築物制限に関する一部を改正する条例

小江原町・小江町地区計画は、勾配屋根規制を設けていたが、現在では太陽光発電や屋上緑化に対応できるような建築形態や陸屋根住宅のデザインレベルも過去に比して格段に向上しており、今回地区計画において勾配屋根の制限を削除するものです。

2. 町の区域および名称の変更について

小江原町全域・小江町一部と柿泊町一部の地域を統合し、町の区域を「街区符号」をつけ、小江原1丁目から5丁目とするものです。

3. 一般会計補正予算および水道事業補正予算

制限付一般競争入札への段階的移行に伴い入札参加者や入札事務が増加することから、事務効率化のため、電子入札の導入を行うものです。
水道局も電子入札を導入するものです。

活動レポート



三原町～浜平町線の現地調査を行なう



建設水道委員として関係省庁へ陳情する



高木代議士とステラ座前での街宣を行なう



地域の皆さんへ議会報告を行なう



地域のふれあいフェスタに参加



地域の清掃に参加